

# 石岡市議会 第2回議会報告会

## 報告書



I. 議会報告会の概要	・・・P 1
II. 配布資料	・・・P 2
III. 質疑応答・意見交換について	・・・P2 3
IV. アンケート調査について	・・・P2 8
V. 会場の様子（写真）	・・・P3 0
VI. 総括	・・・P3 1

# I. 議会報告会の概要

主 催 石岡市議会

開催日	平成 29 年 8 月 7 日 (月)	平成 29 年 8 月 8 日 (火)
時 間	午後 7 時～午後 8 時 37 分	午後 7 時～8 時 30 分
場 所	八郷総合支所	石岡市民会館
参加者	19 名	34 名

議員の出欠状況 (A : 八郷総合支所、B : 石岡市民会館 ◎ : 出席 ■ : 欠席)

議員名	新田 茜	大和田寛樹	川井 幸一	櫻井 茂	石橋保卓	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	大槻勝男	山本進	村上泰道	関口忠男	櫻井信幸	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	塚谷重市	島田久雄	徳増千尋	高野要	鈴木行雄	
A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	■	■
B	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	■	■

内 容

1. 開 会 (勝村孝行議会改革推進特別委員長)
2. 挨拶 (岡野孝男議長)
3. 委員会報告 (◎は委員長、○は副委員長)
  - ①総務委員会 : 「地域おこし協力隊について」  
◎山本進 (発表) ○櫻井茂 高野要 徳増千尋 塚谷重市  
岡野孝男 菱沼和幸 勝村孝行
  - ②教育福祉環境委員会 : 「教育・保育施設の状況」  
「石岡市地域福祉計画」  
◎谷田川泰 (発表) ○大和田寛樹 池田正文 櫻井信幸  
小松豊正 玉造由美 新田茜
  - ③経済建設消防委員会 : 「石岡駅周辺整備事業について」  
◎村上泰道 (発表) ○大槻勝男 鈴木行雄 島田久雄  
関口忠男 石橋保卓 川井幸一
4. 意見交換
5. 閉 会 (池田正文副議長)

議会報告会の準備、運営については議会改革推進特別委員会が担当  
議会改革推進特別委員会

委員長 勝村孝行  
副委員長 石橋保卓  
委員 菱沼和幸 村上泰道 櫻井茂 新田茜

# 石岡市議会

第2回

# 議会報告会



市公認キャラクター  
満喫うさぎ カイ



市公認キャラクター  
嗜みうさぎ モモア

【八郷地区】

8月7日(月)

午後7時～午後8時30分

八郷総合支所 1階会議室  
石岡市柿岡 5680-1

【石岡地区】

8月8日(火)

午後7時～午後8時30分

石岡市民会館  
エントランスホール  
石岡市総社 1-2-5

お問合せ先 石岡市議会事務局 石岡市柿岡5680-1

TEL 0299-43-1111(代表)

Eメール gikai@city.ishioka.lg.jp

## 議 会 構 成

役 職 名	氏 名
議 長	岡 野 孝 男
副 議 長	池 田 正 文

委 員 会 名		委 員
常 任 委 員 会	総 務	◎ 山 本 進 ○ 櫻 井 茂 高 野 要 徳 増 千 尋 塚 谷 重 市 岡 野 孝 男 菱 沼 和 幸 勝 村 孝 行
	教育福祉環境	◎ 谷田川 泰 ○ 大和田 寛 樹 池 田 正 文 櫻 井 信 幸 小 松 豊 正 玉 造 由 美 新 田 茜
	経済建設消防	◎ 村 上 泰 道 ○ 大 槻 勝 男 鈴 木 行 雄 島 田 久 雄 関 口 忠 男 石 橋 保 卓 川 井 幸 一
議会改革推進 特別委員会		◎ 勝 村 孝 行 ○ 石 橋 保 卓 菱 沼 和 幸 村 上 泰 道 櫻 井 茂 新 田 茜
議会運営委員会		◎ 関 口 忠 男 ○ 谷田川 泰 勝 村 孝 行 石 橋 保 卓 櫻 井 茂

◎印：委員長      ○印：副委員長

※議会構成は、報告会開催時（H29.8.8）の構成となります。

# 石岡市議会

## 議会報告会式次第

一、開会

一、挨拶

一、総務委員会 報告・質疑応答

一、教育福祉環境委員会 報告・質疑応答

一、経済建設消防委員会 報告・質疑応答

一、意見交換

一、閉会

# 石岡市議会 総務委員会

市長公室，総務部，財務部，会計課及び八郷総合支所の所管に属する事項並びに他の所管に属さない事項を審査

委員長 山本 進

副委員長 櫻井 茂

委員 高野 要

委員 徳増千尋

委員 塚谷重市

委員 岡野孝男

委員 菱沼和幸

委員 勝村孝行

石 岡 市

## 地域おこし協力隊

平成29年6月

4名の若者が、石岡市に住まいを移し、  
地域おこしに向けた  
活動を開始



# 地域おこし協力隊とは



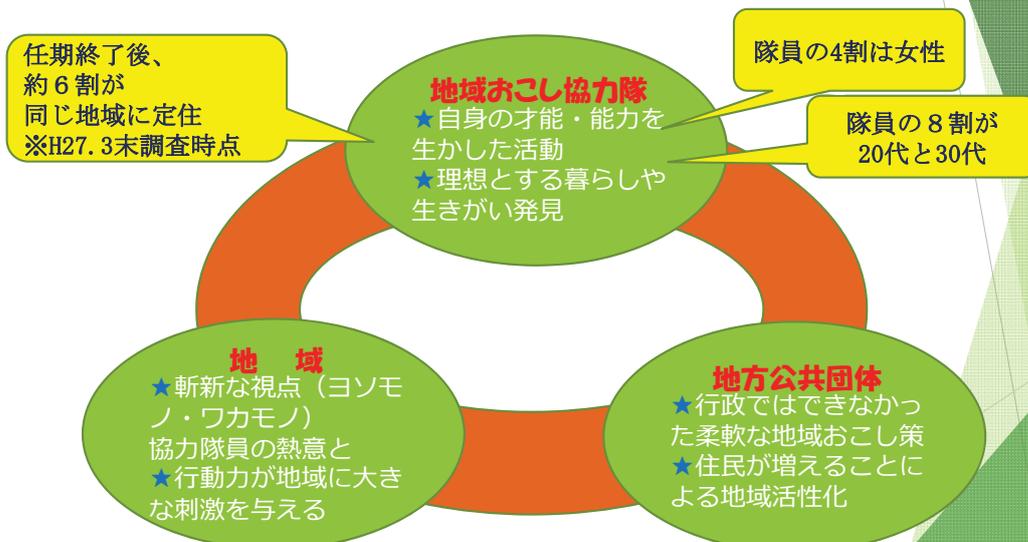
今、都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化などに恵まれた「地方」に注目しています。

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」「人とのつながりを大切にして生きていきたい」「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」…。

そうした想いを実現する制度として「**地域おこし協力隊**」を創設。

「**地域おこし協力隊**」とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

# 地域おこし協力隊の効果



# 地域おこし協力隊 受入れ状況



# 地域おこし協力隊 の予算

## 特別交付税による財政措置

協力隊員募集に要する経費……………200万円

協力隊員への報償費(1人あたり)……200万円

協力隊員の活動費(1人あたり)……200万円

## 協力隊関連予算(特別交付税対象経費)

報酬 月額16万円

居住用アパート等の借り上げ 400万円(4人分)

イベント参加の際の備品借上げ料 32万円(4人分)

地域おこし協力隊活動支援事業委託料 100万円

## 地域おこし協力隊 の身分

身分・・・非常勤の特別職

任期・・・H30年3月末（最大3年まで延長可能）



3年間で生業を確立し、定住できるか？

協力隊に4名の男女が採用されました。

いずれも武蔵野美術大学卒業生で、アートサイト八郷で石岡の地を踏んでいる方々。

## 地域おこし協力隊 隊員プロフィール

氏名	活動分野	主な経歴	意気込み
田中 楓 たなか かえで 23歳	<b>中心市街地活性化</b> (調布市)	武蔵野美術大学建築学科卒 民間企業勤務	自分の体で石岡での暮らしを体験して、いま石岡にあるもの、素材を見つけ、繋いでいき、発信していきたいです。
井上 岳 いのうえ たく 25歳	<b>観光交流</b> (町田市)	武蔵野美術大学建築学科卒 大阪市立大大学院工学研究科 都市系専攻前期博士課程修了	よそ者の視点から石岡の魅力を見つけ活用していきたいです。外の人たちに石岡の良さを自慢できるような活動をしていきたいです。
大重 雄暉 おおしげゆうき 25歳	<b>農林業</b> (目黒区)	武蔵野美術大学建築学科卒 大阪市立大大学院工学研究科 都市系専攻前期博士課程修了	石岡という天然資源豊かな場所で、自分の可能性や関心を広げていきます。
瀧田 暁月 たきた あき 27歳	<b>移住定住</b> (葛飾区)	武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科卒 民間企業勤務	石岡の地に出会って四年、ようやく地域の一員となる第一歩に立ち、嬉しい気持ちです。改めて、よろしくお願い致します。

# 地域おこし協力隊

## 石岡市での取り組み

- **中心市街地の活性化**：「まち未来いしおか」と協力し、ステーションパークの利活用や、石岡カフェの運営などに携わる。
- **観光交流の推進**：朝日里山学校の指定管理者である「NPOアグリやさと」と協力し、体験交流メニューの企画運営に携わる。
- **農林業の推進**：鳥獣被害対策や、森林の利活用に向け農政課の業務に携わる。
- **移住・定住の推進**：移住希望者向けに地域資源の魅力発掘と発信、移住ツアーの企画運営などに携わる。

# 地域おこし協力隊

今、協力隊員は

**3年後の定住を意識し、活動を始めました。**

**それぞれに、能力を活かした幾つかの構想を創案。**

**週に1回、集まって情報交換を密にし、重層的な連携を意識した取り組みを目指している。**

**年度内に起業したいという思いもある。**

地域おこしは協力隊員だけで行うものではなく、地域に住む私たちも一緒になって考え行動するという意識を持てるかということが問われるのではないのでしょうか。

応援  
お願い  
致します

全国的に見れば  
成功例ばかりではないが、  
成果を出すためには  
出してもらうには

## ～第2回 石岡市議会報告会～

### 教育福祉環境委員会

#### 教育福祉環境委員会委員

◎委員長 谷田川 泰  
○副委員長 大和田 寛樹

委員

池田 文  
櫻井 幸  
小松 正  
小玉 豊  
新田 由美  
新田 茜

定数 7名



## ＜教育福祉環境委員会 所管事項＞

生活環境部・保健福祉部・福祉事務所及び教育委員会事務局の所管に属する事項

市内小中学校や幼稚園に関する事や文化財の保存・活用や文化の振興、または子どもやお年寄りの福祉に関すること、環境問題などを調査、研究します。

社会福祉施策・高齢福祉施策・介護保険制度・こども福祉施策・学校教育施策・保育所施設の維持管理及び運営・市立小中学校維持管理・健康増進施策・社会教育施設の管理運営・文化財の保護保存・学校給食センター・環境対策・環境保全・水道業務・交通安全対策交通安全対策及び交通環境整備 などについて

～教育・保育施設の状況～

## ＜石岡市内 教育・保育認定施設数＞



### 幼稚園数

#### 石岡地区 1 施設

- ・東幼稚園

### 認定こども園数

#### (幼稚園型) 石岡地区 5 施設

- ・石岡幼稚園・石岡善隣幼稚園
- ・国分寺幼稚園・さくら園・ばらき台幼稚園

#### (幼保連携型) 八郷地区 1 施設

- ・恋瀬ことりの森幼保園

### 保育園 (保育所)

#### (公立) 石岡地区 2 施設

- ・石岡第 1 保育所・石岡第 2 保育所

#### (私立) 石岡地区 1 1 施設

- ・石岡明照保育園・泉ヶ丘保育園
- ・国分台ふたば保育園・石岡ひまわり保育園
- ・わかくさ保育園・しらゆり保育園・そとの保育園
- ・つばさ保育園・はーとぴあ保育園石岡・ひかり保育園
- ・あんだんて泉ヶ丘 (地域型保育施設)

#### 八郷地区 1 施設

- ・わかば八郷

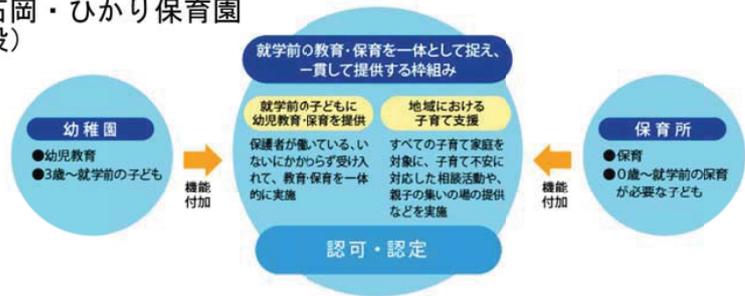
#### 八郷地区 3 施設

- ・園部保育所・みなみ保育所
- ・やさと中央保育所

#### 八郷地区 1 施設

- ・りんりん保育園

※認定こども園  
教育、保育を一体的に行う施設で、  
いわば幼稚園と保育園の両方の良さを  
併せ持つ施設です。



## 石岡市保育需要の動向について 入所児童数

単位：人

### ＜乳幼児人口（外国人を含む）＞

単位：人

	0歳	1歳	2歳	0-2計	3歳	4歳	5歳	3-5計	合計
H27 4.1	464	540	494	1,498	536	543	557	1,636	3,134
H28 4.1	563	479	533	1,575	503	538	553	1,594	3,169
H29 4.1	447	558	483	1,488	528	501	539	1,568	3,056

### ＜保育・教育認定合算 入所数＞

単位：人

	0歳	1歳	2歳	0-2計	3歳	4歳	5歳	3-5計	合計
H27	76	206	221	503	481	532	542	1,555	2,058
H28	67	192	267	526	469	519	538	1,526	2,052
H29	63	240	257	560	491	493	523	1,507	2,067



## 支給認定区分

幼稚園や保育所、認定こども園、地域型保育を利用する際に、支給認定を受ける必要があります。支給認定には、子どもの年齢や保育の必要性に応じて、1号認定から3号認定まで3つの区分があります。認定区分によって利用できる施設や時間が変わります。

- 1号認定（教育標準時間認定）・・・満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、学校教育のみを受ける子ども
- 2号認定（保育認定）・・・満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育を必要とする子ども
- 3号認定（保育認定）・・・満3歳未満の保育を必要とする子ども

利用したい施設 認定区分		幼稚園	保育所	認定こども園		地域型保育
				利用時間 朝～昼すぎ	利用時間 朝～夕	
満3歳以上	教育標準時間認定 1号認定	🌸		🌸		
	CHECK! 保育認定 2号認定		🌸		🌸	
満3歳未満	CHECK! 保育認定 3号認定		🌸		🌸	🌸

※実際に受け入れている年齢や利用時間は各施設で異なります

## 保育(2・3号認定)の量の見込み 認定こども園・保育所等

### <2号認定の見込み量・確保内容>

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み (必要利用定員総数)	1,014	984	974	969	969
特定教育施設 (認定こども園)	173	169	168	166	166
特定保育施設 (保育所(園))	841	815	806	803	803
②確保の内容	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160
特定教育施設 (認定こども園)	325	325	325	325	325
特定保育施設 (保育所(園))	835	835	835	835	835
差異②-①	146	176	186	191	191

### 【確保の方策】

2号認定は供給量が需要量を上回っており、市全体では供給量が確保できていることから、供給量の追加は行わないとする。ただし、既存の保育施設で認可基準を満たしている施設については、「現在、需要がある」または「確実な需要が見込める」場合、供給量の追加を行います。

<3号認定の見込み量・確保内容>

単位：人

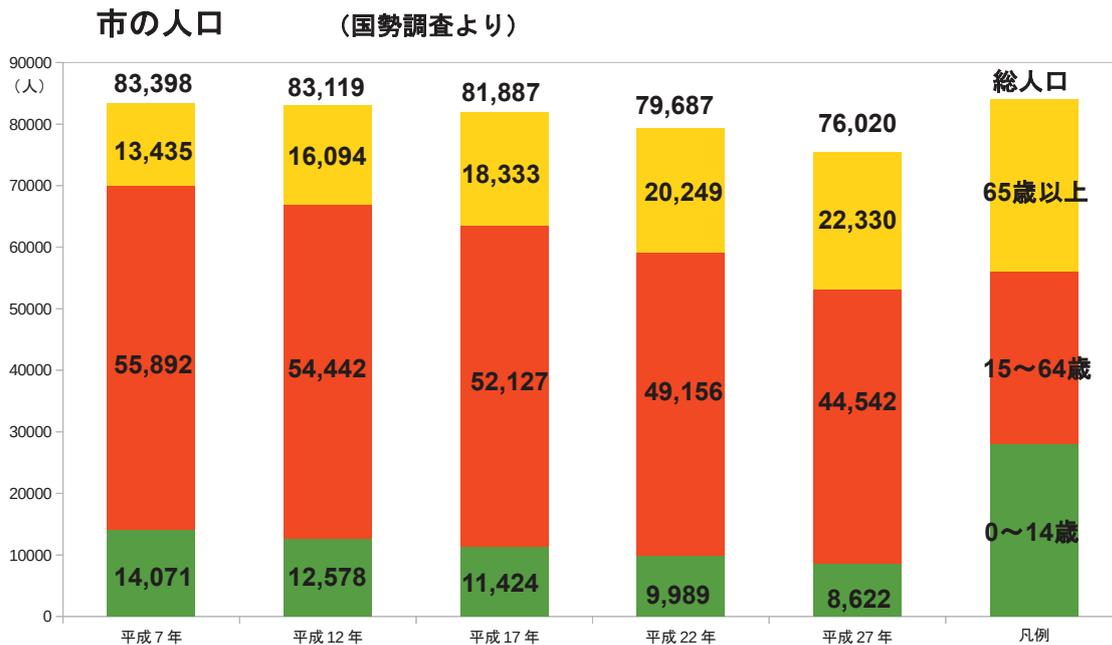
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み (必要利用定員総数)		691	695	676	655	636
	0歳	131	128	124	120	117
	1・2歳	560	567	552	535	519
②確保の内容(A+B)		661	694	694	694	694
3号認定 (施設型給付) (保育所(園) ・認定こども園)	計(A)	646	679	679	679	679
	0歳	133	136	136	136	136
	1・2歳	513	543	543	543	543
3号認定 (地域型保育給付)	計(B)	15	15	15	15	15
	0歳	2	2	2	2	2
	1・2歳	13	13	13	13	13
差異②-①		▲30	▲1	18	39	58

【確保の方策】

3号認定は既存の保育施設で認可基準を満たしている施設、または、地域型保育事業の施設基準を満たしている施設を確保していきます。また、同時に既存の認可保育所・認定こども園において乳幼児の受け入れ態勢を整えます。それでも供給量が不足する場合は、地域型保育事業施設(0歳～2歳)の認可・整備を行い、保育のニーズを確保します。

石岡市地域福祉計画  
～石岡ふれあい長寿プラン～

## 石岡市の現状について



石岡市の総人口は、平成7年の83,398人をピークにその後20年間に7,378人減少し、平成27年には76,020人となっています。  
 年齢構成では、0～14歳までの年少人口が減少、65歳以上の高齢人口が増加し続けており、今後も少子高齢化がさらに進むことが予想されます。

## 石岡ふれあい長寿プラン

全国的に少子高齢化が進むなか、本市においても市民の4人に1人が65歳以上という超高齢化社会となっています。更に、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となる平成37年（2025年）には、3人に1人が高齢者となることを見込まれており、介護サービスの提供体制の充実が求められています。

また、高度情報化の進展などにより、高齢者を取りまく社会情勢も大きく変化し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加するとともに、地域コミュニティとのつながりも希薄になりつつあります。

こうした状況を踏まえ高齢者福祉の推進目標として3か年計画で石岡ふれあい長寿プランが策定されています。

石岡市では、高齢者を対象にした、  
さまざまな事業・取り組みをしています。



(主な事業の紹介)

### ◎生涯現役プラチナ応援事業

65歳以上の高齢者が、地域貢献活動やいきがいきづくり活動に参加することで生涯にわたり健康でいきいきと活躍できることを目的として、市の指定する講演会や教室に参加した際にはポイントを付与し、市内の施設や店舗で使用できる石岡プラチナ応援券と交換しています。

#### ◇市内施設利用券

・ふれあいの里石岡ひまわりの館・常陸風土記の丘・茨城県フラワーパーク・八郷温泉ゆりの里（平日のみ）

#### ◇市内協賛店で利用できる500円券

・特産品など・市内に本社があるタクシー、バス会社

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
生涯現役プラチナ応援事業 ポイントカード交付数(枚)	1,967	2,790	2,961

ご清聴ありがとうございました。



# 経済建設消防委員会



委員長 村上泰道 副委員長 大槻勝男  
委員 鈴木行雄 島田久雄 関口忠男 石橋保卓 川井幸一

## 石岡駅周辺整備事業の経過

年月	事項	備考
H16年	石岡駅周辺整備基本構想を策定	策定委員会設立 学識経験者・議会・市民代表・商工関係者 交通事業者・県・市（委員18名）
H19年	石岡市第1次総合計画を策定し、「駅・市街地等の整備」の項目に駅周辺整備を位置づける	
H20年	「石岡市都市計画マスタープラン」を策定し、駅舎や東西自由通路等の整備による交通結節点の機能強化を位置づける	
H21年12月	石岡市中心市街地活性化基本計画を策定し、活性化戦略の一つとして駅周辺整備事業を位置づける	県内初の計画認定を内閣府より受ける (H21年12月～H26年12月)
H23年1月	石岡駅橋上化基本設計業務委託	ジェイアール東日本コンサルタンツ㈱
H23年4月	国土交通省所管の社会資本総合整備交付金で事業計画し、交付決定を受ける	橋上駅舎・東西自由通路 西口駅前広場・BRT専用駅前広場 (総事業費 36億6千万円)
H23年6月	駅周辺整備推進室設立	業務開始
H23年10月	石岡駅橋上化推進検討委員会設立	駅舎のデザイン・駅周辺における既存施設の利活用に関することを検討
H23年12月	東日本旅客鉄道㈱水戸支社と「石岡駅周辺整備事業に関する覚書」を結ぶ	
H24年2月	都市計画決定	石岡駅周辺整備事業の5路線
H24年3月	事業認可	石岡駅周辺整備事業の5路線
H24年7月	「常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設に伴う詳細設計」業務委託	委託先: 東日本旅客鉄道㈱水戸支社 (H24. 7～H25. 3)
H25年6月	東日本旅客鉄道㈱水戸支社と「常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事」の施行協定締結	総工事費 約27億6千万円 (H25年6月～H27年3月)
H25年11月	東鉄工業㈱水戸支店に建築請負業者に決定	
H25年12月	石岡駅橋上化本体工事着手	
H26年4月	東日本旅客鉄道㈱水戸支社と「常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事」の施行変更協定締結	工期延長 (H25年6月～H28年3月)
H27年3月	東日本旅客鉄道㈱水戸支社と「常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事」の施行変更協定締結	施工内容変更に伴う工事費用の増額 総工事費 約29億7千万円
H27年9月	橋上駅舎及び東西自由通路一部供用開始	橋上駅舎1期目工事完了
H28年3月	橋上駅舎及び東西自由通路供用開始	橋上駅舎、東西自由通路 竣工

## これまでの石岡駅と西口駅前広場



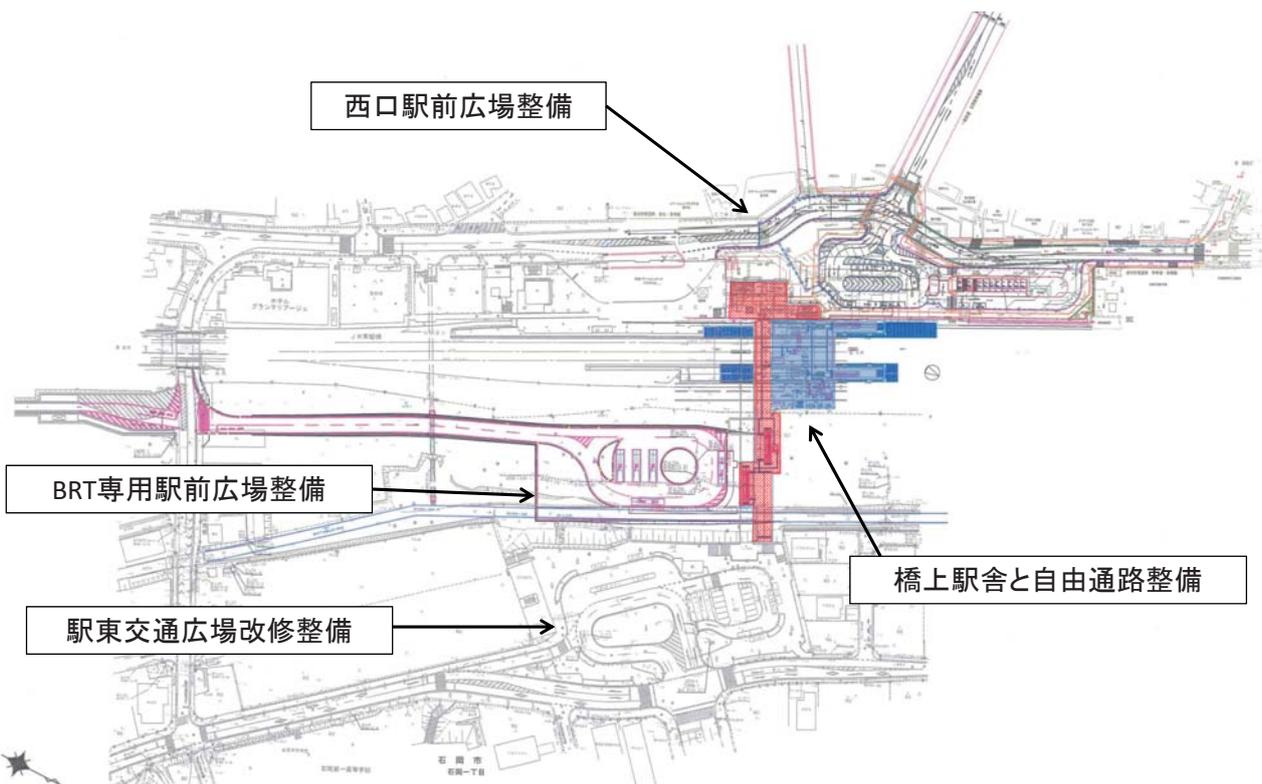
昭和40年代後半の石岡駅

最近までの石岡駅



多くの方が利用する西口駅前広場が狭く、一般車両の駐車スペースが少ないことや、朝夕や雨天時などにおいて、人と車が混み合ってしまう状況でした。

## 石岡駅周辺整備事業全体計画図



# 新しい石岡駅と自由通路 完成予想図

歴史を継承する意匠を用いた和モダンなデザイン



西口から見る新しい石岡駅



完成した石岡駅西口

## 東西自由通路の新旧

これまでの東西自由通路は、屋根無型でエレベーターもない自由通路でした。新しい自由通路は橋上駅舎と一体化になり、これまで西口からしか入ることが出来なかった改札口に、東口と西口の両方から直接改札口に向かうことが出来ます。また、エレベーター2基、エスカレーター6基の整備でバリアフリー化を図り、利用しやすくなります。

○延長：100m

○幅員：5.0m

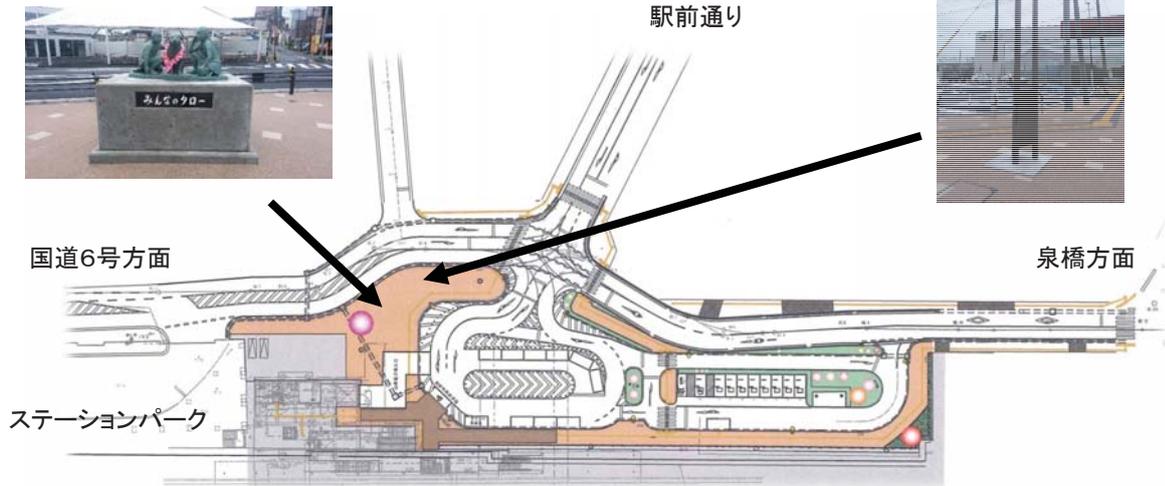
これまでの自由通路



新しい自由通路



# 西口駅前広場



これまでの西口駅前広場は大変狭く、朝夕や雨天時などタクシーや一般車で混雑している現状で、交差点も変則的になっていました。

新しい駅前広場では、一般車とタクシーのプールを分け、交差点を1箇所に計画し、歩行者と自動車が安全に通行できるように変わります。

- 西口駅前広場 4700m<sup>2</sup>
- タクシー乗車場1台、降車場1台、タクシープール8台
- 一般車乗降場6台(身障者用1台)、駐車場9台(身障者用1台)

# BRT専用駅前広場

以前、石岡駅から鉾田駅まで(27Km)鹿島鉄道が運行していました。平成19年3月に廃線になり、翌4月より、鹿島鉄道の代替バスが運行しましたが、一般道を走ることになったことや、本数の減少により利用者が落ち込みました。

これを受け、鹿島鉄道の廃線敷きのうち、石岡駅から四箇村駅までの区間を全国初の公設民営方式によりバス専用道化し、定時性と速達性のあるバスを運行する“地方型BRT”の実証運行を平成22年8月に開始し、平成24年度から本格運行を行っています。

このBRTの出発となる専用駅前広場を石岡駅周辺整備事業で整備を行っています。

## 旧鹿島鉄道石岡駅構内



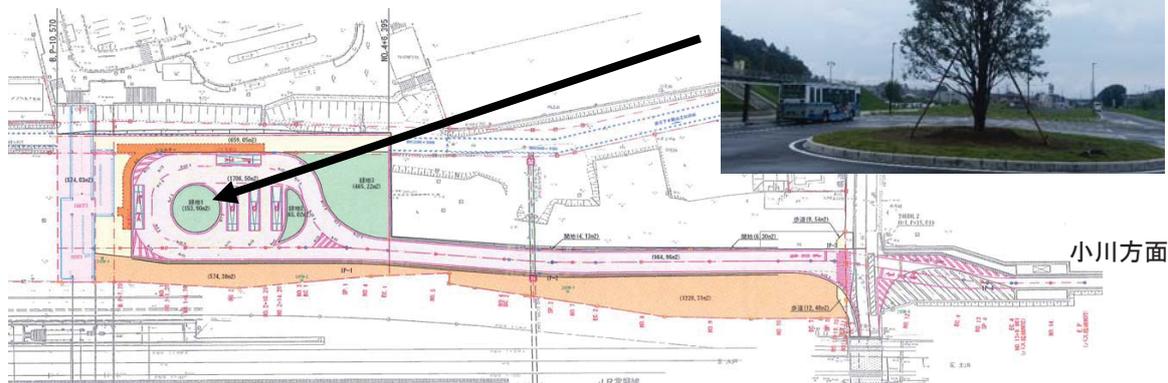
## BRT専用駅前広場



## BRT専用広場から見た駅舎



## BRT専用駅前広場

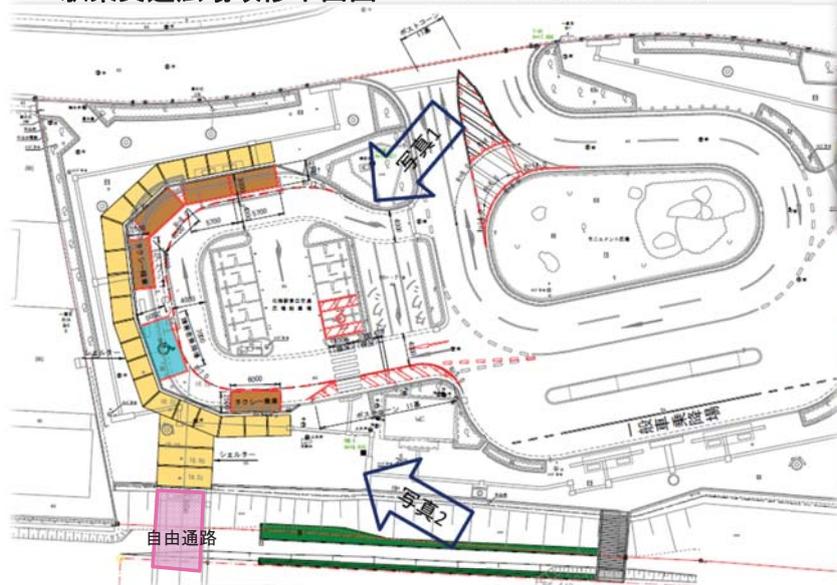


〇これまでのBRTの発着所は、ステーションパークのバスターミナルで、地域路線バスと同じ発着所を利用していました。

今回石岡駅橋上駅舎化と合わせ、バス専用道の延伸とBRT専用駅前広場の整備を行い、直接石岡駅に乗り入れることができ、定時性・速達性を確保し、沿線住民や通勤通学者、そして茨城空港利用者への利便性を高めるものです。

〇BRT専用駅前広場 3300m<sup>2</sup>  
バス乗車場1台、降車場1台、バスプール3台

## 駅東交通広場改修平面図 駅東交通広場



これまで東口駅前広場の利用は、あまり多くありませんでした。橋上化に伴い東口からも直接改札口に入ることができるようになることで、東口の利用は増えることと思われます。そのため、タクシーや身障者用の乗降場、シェルターを改修整備し利便性を高めました。

〇駅東交通広場 6500m<sup>2</sup>  
タクシー乗車場1台、降車場1台、タクシープール5台  
身障者用乗降場1台、駐車場9台(身障者用1台)

## 駅周辺整備に係る市民の皆様からのご意見

### 【西口】

ロータリーにおいてタクシーと一般車両の区別が分かりづらい

ロータリー内の電柱が撤去されていない為通行が困難

郵便局側から御幸通りへの右折が困難(時差式導入)

以前あった横断歩道(現交番前)が撤去され不便

交差点の動線が全体的に曲線になっている

交差点内の車線の明確化(カラーリング)

タロー像の設置場所が危険と感じる



信号を有する交差点が2つから1つになり信号待ちの時間が短縮された

駐車30分の無料駐車場が近くになり送迎時の利便性が良くなった

一般車とタクシーのロータリーが別になり安全

タロー像が石岡駅のシンボルになった



## 駅周辺整備に係る市民の皆様からのご意見

### 【東口】

駐車30分の無料駐車場が設置され送迎時の利便性が良くなった

東西自由通路が整備され近い東口を利用するようになった

ロータリーが広くなり利便性が向上した



### 【自由通路・BRT】

改札付近に待合休憩スペースを整備して欲しい

専用ロータリーが整備されバスの定時制が向上した

バス⇄JRの乗り換えが便利になった



### Ⅲ. 質疑応答・意見交換について

#### 1. 常任委員会発表時の質疑

##### ◆総務委員会

8月7日	質問	地域おこし協力隊員4名が同じ大学ですが、採用するいきさつは何でしょうか。
	回答	アートサイト八郷で石岡に足を運んでいるうちに愛着を覚え、地域おこし協力隊に応募されたという事です。大学院で勉強を続けていたり、民間企業に勤めていたりそれぞれの道を歩んでいましたが、石岡に移住定住したいとの思いが強くなり応募され、採用されたものです。
	質問	協力隊が取り組むものに鳥獣被害対策があるが、成果は出ていますか。
	回答	6月からの活動ですので具体的な成果はまだ、出ていません。
8月8日	質問	地域おこし協力隊に予算をかけるのもいいが、ほかにもっとやるべきこと、人口減の対策について議会の考えをお聞きしたい。そうしないと財源が作れないし高齢化社会になっていくので気になる。
	回答	地域おこし協力隊は日本全国の地方自治体が行っており、人口減少対策の一つで、国が後押しをしてくれるものです。募集から隊員の活動まで地方交付税を財源としています。

##### ◆教育福祉環境委員会

8月7日、8日 いずれも質問はありません。

##### ◆経済建設消防委員会

8月7日の質問はありません。

8月8日	質問	駅舎が新しくなり、山車の展示、徳富蘇峰の看板、滝平二郎のステンドグラスなどがあるが、説明がない。工夫をお願いしたい。
	回答	石岡はPRが下手だといわれているところで、より良いPRに努めていければと思います。

8 月 8 日	質問	駅舎がきれいになったが、駅前の通りの街灯が不ぞろいなので統一感のある街灯を作っていただけないか。
	回答	検討させていただきたいと思います。

## 2. 意見交換における発言・質問

8 月 7 日	質問	パン屋さん（ブレッド）の角から支所までの道は、田んぼの中を走り、田んぼの角に電柱があって危険。電柱を角よけて設置できないか。
	回答	整備対象の区間ですが、地権者も含めて時間がかかると思いますので執行部に伝えていきます。

8 月 7 日	質問	地元小学校の運動会に市長さん、県会議員さんは来たが市議会議員さんは来なかった。地元の議員さんでないと来ないのですか。（地元選出議員はいない）
	回答	行事を執行する方が決めています。議員から行かせてくださいとは言えませんので、行事を行っている皆さんで検討してください。

8 月 7 日	質問	3委員会の発表を聞きましたが、喫緊にやらなくてはいけないことを委員会ごとに教えていただきたい。
	回答	総務委員会は、石岡市役所本庁舎の建設、それと人口減少対策。教育福祉環境委員会は、小中学校の統廃合。経済建設消防委員会は、経済部に関しては「国民宿舎つくばね」の再建を含めた道の駅の整備。農業就農者の育成も取り組んでいます。都市建設部所管は、合併特例債を活用した上曽トンネルの整備、完成していない駅周辺整備。消防本部に関しては八郷地区の消防団の再編です。

8 月 7 日	質問	会議録の開示が遅いのではないか。
	回答	なるべく早く開示できるように議会事務局と打ち合わせをします。次回の定例会の前には公開しています。新庁舎ができた時には、議会のインターネット中継等で充実すると考えています。

8 月 7 日	質問	風土記の丘の古代ハスの木道が震災後整備されていないが、復興予定がありますか。
	回答	議会の方でも質問が出ており、今後整備する方向で答弁をいただいています。
	質問	業者がやると（経費が掛かって）大変じゃないですか。草の根運動的に市民の手で、できないでしょうか。
	回答	市民の方が活動したいという声があれば、執行部に協議するよう伝えたいと思います。橋の架け替えは検討が進められており、楽しみに待っていただきたいと思います。

8 月 7 日	質問	柏原池公園内は除草が徹底されていて綺麗ですが、公園前の市道、分離帯の除草がされていないのですが。
	回答	市道の除草は定期的に行っていますが、雑草が伸びる時期ですので、担当部局に伝えてまいります。

8 月 7 日	質問	風土記の丘の滑り台が昨年11月に撤去され更地になっている。今年度作り直すような看板があったが、まだ工事が始まっておらずできるのか。
	回答	議会の中で沢山意見があり、今年度予算が付きました。既に業者に発注もしております。

8 月 7 日	質問	瓦塚窯跡が国指定史跡になったと聞きましたが、環境整備の補助を市にお願いしたい。
	回答	瓦塚保存会に市は補助をしています。念願の国指定史跡になりましたが、どのような整備をするかはこれからの話なので、決まるまでは、瓦塚保存会でお願いしたいと思います。

8 月 8 日	質問	議員さんに職員がいじめられているように見えてしまう。叱咤激励をして職員にやる気を起こさせる工夫を22名の議員さんをお願いしたい。
	回答	議員の活動として、議会基本条例の中に「議員は市民の代表として高い倫理観を持ち品位の保持に努める」と謳っています。ややもすると、そこから外れて、職員に接したり、質問においても脱線したりする議員もいるかもしれません。その辺については今後十分に直すように努力をしてまいりたいと思っています。

8 月 8 日	質問	平成27年に皆さんが議員になった時の公約があると思うが、どのくらい公約を守れているのか知りたい。
	回答	答えが難しいんですけども、4年毎に選挙があり皆さんから選ばれています。理想とする事はなかなか具現化できない場合もありますし、またある程度できたかなと思う方もいるかもしれませんが、まちまちかもしれませんが、4年に1回洗礼を受けますので、それに向けて4年間努力をされていると思っております。

8 月 8 日	質問	石岡中と城南中の統合ですが、あと半年しかありません。統合が十分にできるようにしていただきたい。
	回答	私共行政の進めている部分と皆様の持っている部分と多少なりとも食い違いがあるのかなと指摘を受けたところです。今、最優先にしているのは、子供達がいかに安全に中学校の統合ができるか。通学路の問題、バスが通る際のバス停の問題、その辺のところを十分に勘案しながら、通学路の確保と統合に向けた対策を取っているところです。

8 月 8 日	質問	地域おこし協力隊の人たちは昼間、何をしているのですか。
	回答	昼間は石岡市の非常勤職として、勤務場所は石岡カフェであったり経済部であったり、朝日里山学校だったり活動の内容に応じて勤務場所が変わります。
	質問	例えば、地域おこし隊の人は東京出身のようなので、逆に東京の人、向こうの人をおまつりに呼び、石岡の街コンみたいのをやって、こっちで結婚してもらって、そういうのを行政側でももらえれば手っ取り早いんじゃないか。
	回答	今ご提案いただいた内容について議題に上ることはあると思います。隊員達に提案があったことを伝えます。都会で暮らしていた方々に我々が気が付かない地方の魅力を発見してもらい、それをどう生かすかという活動、制度です。
	質問	商工会にも地域おこし隊とかが、たまに来て、話とかやっている。総務委員会の方もオブザーバーでいいですから現場に来ていただいて何回か見てもらうのもいいかなと思います。
	回答	過日、隊員4名にインタビューをしました。その直後にあったサマーフェスタで隊員が活躍している姿がありました。この人たちが、石岡市に定住したいという動機になったアートサイト八郷が間もなく開催されますので、現場に行って意見交換をしてみたいと思います。

8 月 8 日	意見	<p>青柳地区のアートの所に家内といったことがあります。雪が降っていてすごくいいです。雪は冷たくて、雪は雪下ろしとは言わないんです。雪ホリというんですね私達は。今は雪が少なくなりました。温暖化で。</p> <p>本当に欲しいのは泥臭さ。本当に、この石岡背負って立って。なにくそ。昔は日本一の国の都だったんじゃないか。この気持ちを、なんで若い人たち、気持ちをわかってくれないだろうと。残念だが真四角。もっと台形になっても尖ってなくても緩やかな筑波山があるじゃないか。これを誇りに思って頑張っていただけのような、そういったような議会になっていただきたいと思います。そういう子供たちが育てられれば、本当の意味でアートじゃないかと私は思うんです。</p>
------------------	----	---

8 月 8 日	質問	<p>今、要介護2までは施設に入れるんですけども、法律では介護は家庭で見なさいとなっていると思います。家庭で面倒を見ているとそれに対する補助というか、そういうことに対して何にもないんです。結局、費用は面倒を見ている人。それから働きにいけないという、そういったものが全部家族負担になってくる。プラチナ応援事業じゃなくて、先を見据えて、もっとしっかりした改革をしてもらいたいと思うんですよ。</p>
	回答	<p>基本的には国策でと考えるところです。市としてもいかに皆様が健康で丈夫な時代を少しでも長く過ごしてもらうための対策として、できる限りやっているところでもありますけども、実際に家庭の中でそういう事態が起きた時にはいかに大変かという事は認識をするところです。今後、行政に対しても、また石岡市全体の問題として国・県にも提案していかなくてはいけない問題だと認識しております。</p>

## IV. アンケート調査について

### 石岡市議会 議会報告会アンケート

本日はお忙しい中、第2回議会報告会にご出席いただき、誠にありがとうございました。  
今後の議会報告会の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をよろしくお願い致します。  
※回答は、該当する回答の番号に○印を付けてください。なお、記述式の間は、お考えをお書きください。

1 住所について（地区名のみで構いません）

・市内(地区名： ) ・市外(市町村名： )

2 年齢・性別について

・男性 ・女性 ・年齢( )

3 議会報告会参加のきっかけについて

・回覧 ・広報 ・ホームページ ・ポスター ・議員 ・知人からの紹介 ・その他

4 今回の議会報告会をどのようにお感じになりましたか。

(1) 開催時期について

・良い ・悪い（※いつごろが良いとお考えですか。） ・どちらともいえない

↓

[ ..... ]

(2) 時間帯について

・良い ・悪い（※いつごろが良いとお考えですか。） ・どちらともいえない

↓

[ ..... ]

(3) 開催場所について

・良い ・悪い（※どこが良いとお考えですか。） ・どちらともいえない

↓

[ ..... ]

(4) 内容について

・分かりやすかった ・分かりにくかった（※どのような点が分かりにくかったですか。） ・どちらともいえない

↓

[ ..... ]

(5) 次回の報告会には、どのような内容を希望しますか。

↓

[ ..... ]

5 その他、本日の感想や議会に対するご意見、ご提言等をご記入ください。

↓

[ ..... ]

※不足する場合は、裏面をご利用ください。

ご協力ありがとうございました。

番号	質問項目	八郷総合支所 (8月7日)			石岡市民会館 (8月8日)		
1	住所(地区名)	宇治会第1・芦穂・細谷・飯塚・根小屋・宿山崎・片岡・下林・小山田・新地・小幡・林・新田・柴内・鹿の子・高友			若松東・宮部・府中・東ノ辻・若宮・国府・谷向・若松・水久保・正上内2名・東ノ辻二部・旭台・杉の井・井関・三村・南台・泉町・東石岡・小美玉市		
2	性別	男性	女性	未記入	男性	女性	未記入
		18	1	0	25	3	1
	年齢	30歳未満					
		40歳未満				2	
		50歳未満				6	1
		60歳未満				5	1
		70歳未満	11			4	
		80歳未満	1			3	
80歳以上					1		
未記入	6	1		4	1	1	
3	報告会参加のきっかけ (複数回答可)	回覧	7	33.3 %	4	12.9 %	
		広報	7	33.3 %	8	25.8 %	
		HP	0	0.0 %	1	3.2 %	
		ポスター	0	0.0 %	0	0.0 %	
		議員	0	0.0 %	3	9.7 %	
		知人紹介	2	9.5 %	11	35.5 %	
		その他	4	19.0 %	4	12.9 %	
		未記入	1	4.8 %	0	0.0 %	
4	議会報告会の感想						
	(1)開催時期	良い	18	94.7 %	21	72.4 %	
		悪い	1	5.3 %	2	6.9 %	
		どちらともいえない	0	0.0 %	5	17.2 %	
		未記入	0	0.0 %	1	3.4 %	
		特記事項	10月ごろ 気温が25度以下の時(雨がでない時) 6月か7月ごろ 冬季の開催			いつでもよい	
	(2)時間帯	良い	18	94.7 %	23	79.3 %	
		悪い	1	5.3 %	4	13.8 %	
		どちらともいえない	0	0.0 %	1	3.4 %	
		未記入	0	0.0 %	1	3.4 %	
		特記事項	午後6時半から8時ごろ			何時でもよい 昼間 8時台 夜の方が都合が良い	
	(3)開催場所	良い	18	94.7 %	25	86.2 %	
		悪い	1	5.3 %	0	0.0 %	
		どちらともいえない	0	0.0 %	2	6.9 %	
		未記入	0	0.0 %	2	6.9 %	
		特記事項	午後6時半から8時ごろ 各地から集まりやすい場所 近い方がいい			どこでもよい	
	(4)内容	分かりやすかった	15	78.9 %	18	62.1 %	
		分かりにくかった	0	0.0 %	1	3.4 %	
どちらともいえない		2	10.5 %	5	17.2 %		
未記入		2	10.5 %	5	17.2 %		

## V. 会場の様子（写真）



## VI. 総括

今年度までに2回、4つの会場で開催してきた議会報告会をふりかえり、今後の議会報告会のあり方について以下の考え方を示して、まとめいたします。

### (1) これまでの報告内容について

これまで、常任委員会ごとに議会報告会での報告内容について検討し、市民の皆様への関心が高い所管事業を報告会の場で報告をいたしました。参加者アンケートの結果から「説明がわかりやすかった」などの一定の評価を頂けている一方、「執行部の事業説明と変わらないのではないか」「議会での議論の内容が見え辛い」などのご意見も頂戴してきたところです。議会は議会基本条例にあるように『言論の府』であるとともに『合議制の機関』であります。今後、議会ならではの報告会としていくためには、委員会での議論の内容をわかりやすくお伝えするなど、報告に際しての工夫が必要と考えられます。

### (2) 参加された皆様の意見の取扱いについて

議会報告会においては、常任委員会ごとの報告内容に対する質疑応答や、意見交換の際のご提言など、参加された市民の皆様より貴重なご意見を頂いているところです。これまで、頂いたご意見は報告書として議長から市長にお渡しをしておりましたが、今後はそれだけではなく、これら貴重なご意見に対する議会としての取扱いとして、委員会等での議論への反映も検討していく必要があると考えています。

### (3) 次回以降の議会報告会に向けて

以上のことから、次回以降の報告会に向けて、次の2点を実施するべく、今後検討を進めてまいります。

#### ① 報告内容のさらなる充実

報告内容については、市民の皆様への関心が高い事業をわかりやすく説明することも必要ですが、単に事業内容の説明に終始することなく、事業実施にあたって、委員会の中でどのような議論が展開されたのか、わかりやすくお伝えできるような方法を検討いたします。

#### ② 議会ならではのサイクルの構築

議会報告会で頂いたご意見・ご提言は、そのまま執行部に渡すのではなく、実現に向けた取組として、所管の各常任委員会で必要に応じ所管事務調査を行い、課題を明確にするために議論を重ね、その上で執行部に回答を頂きます。これら一連の流れを、次回の報告会で報告するという、議会ならではのサイクルの構築を検討いたします。

平成29年12月14日